

GPT監査テーマ： 監査DXで監査報告書を作成してもらうとどうなるか？

【**プロンプト**（生成AIへの入力内容： Written by Tomonori Tomura）】
「あなたはプロの監査人です。日本の上場企業の営業部によく見受けられる監査不適合となる点を3項目挙げて、内部監査を行う際に社長に提出が求められる監査報告書の文例を、3項目合計で700文字以内でまとめて作成して下さい。」

【**アウトプット**（生成AIの出力内容 **Written by ChatGPT-o1 (所要8秒)**）】

監査指摘事項（営業部）：

1. 契約書・発注書等の文書不備（基本項目記載漏れ、承認印の欠如など）
2. 販売実績報告における不正確性および承認フローの未徹底
3. 顧客データ管理上の不備（アクセス権限設定の不明確、セキュリティ対策不足）

【内部監査報告書（社長提出用）例文】

件名：令和XX年度第X四半期営業部内部監査報告書

提出日：令和XX年X月X日

提出先：代表取締役社長 ○○○○ 殿

提出者：内部監査部 ○○○○

【監査概要】

実施期間：令和XX年X月X日～X月X日

対象部署：営業第一部、営業第二部

【指摘事項】

1. 契約関連書類の整備・承認手続き不備
2. 販売実績報告における承認フロー未遵守
3. 顧客データ管理・アクセス権限設定の不明確

【改善提案】

標準書式の徹底遵守、販売報告の承認プロセス明確化、顧客データ管理規程の整備強化を推奨します。以上

【**所長のGPT監査ノート**（Written by Tomonori Tomura）】

「全体の文字数をコンパクトにしたこともあり、非常にシンプルに、日本企業の営業部門でよくありそうな監査不適合な点や不備のある点を挙げてまとめられている。指摘の有無を機械的に通達するだけであれば、改善提案も記載されており、出力内容のもので一応は用をなし得るものの、監査報告を受ける社長としては、もう少し詳しく聞きたくなるであろう。逆に、コンパクトに要点のみに絞って伝えることで、社長がもっと情報を欲しくなることを想定して、詳細は別紙のコチラにございます、という展開の仕方もありかもしれないし、エグゼクティブ・サマリー的にはダラダラとした記載より良いかもしれない。」

